

共同子育て広場おひさまの事業及び活動

報告とご案内

＊すぎの子共同保育所（保育事業）

0歳児（満1歳）～5歳児までの保育を行っています。平成21年度、園児募集中。
対象年齢：平成15年4月2日生まれから平成20年4月1日生まれ（満1歳から受け付けます）まで

＊園開放事業

第1、第3土曜日、午前、保育所を開放して、音楽リズムや親子で楽しむことのできる季節の遊びなどを企画しています。



＊おひさま通信発行

会員や地域の方々を結ぶ機関紙。おひさまの諸事業、すぎの子共同保育所の子どもたちや園開放に参加された子どもたちのようす、行事案内を掲載し発送しています。

おひさままつり フリーマーケットのお知らせ

11月7日（土） 10:30～14:00

今年は、これまでと違う形（フリーマーケット形式）で、おまつりを行います。おひさま会員、すぎの子共同保育所保護者、卒園児、OB保護者、地域の方々の交流の場になればいいなと思っています。様々なブースを用意しています。あそびに来て下さい。

物品販売・あそび・食べ物

お話の部屋（交流スペース）のブースがあります

出店希望者は
保育所にお問い合わせ
下さい

募集のため
募集

ボランティア募集

もっとたくさんの人におひさまを知ってもらい、活動を広げていくためにボランティアを募っています。

- ◇ 保育のお手伝い（要保育士資格）
- ◇ 給食のお手伝い（要検便）
- ◇ 園児募集ビラ・ポスター配り
- ◇ おひさま通信の編集
- ◇ 園開放事業スタッフ（受付・準備・広報など）
- ◇ 講演会の企画・運営
- ◇ 事務局のお手伝い（印刷や発送などの作業）
- ◇ ホームページ管理・更新のお手伝い
- ◇ おまつり等で事業活動の手伝い
- ◇ 畑作業のお手伝い



会員募集 みなさんの力でおひさまの活動を支えてください。

特定非営利活動法人共同子育て広場おひさまは、みんなで知恵と力を出し合い、共同して子育てに取り組もうと考えました。子育てが楽しくなる、子どもの目が生き生きと輝く活動に取り組めます。行事に参加できる、できないに関わらずおひさまを応援したいという方などご入会をお待ちしております。

◎ 正会員 入会金 なし 年会費 5000円 イベント割引 総会決議権

◎ 賛助会員 入会金 なし 年会費 一口1000円 イベント割引

寄付・債券のお願い

新園舎建設に2165万円の債権を寄せていただきました。2010年度からの債券返済のため引き続き寄付、債券をお受けしております。今後ともよろしくお願いたします。



会費、寄付、債券振込口座および振込名義
郵便振替口座 01610-2-93045
口座名称 特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

＊ホームページあります。おひさま <http://npo-ohisama.org/> 保育所 <http://www.kyoho.org/>

特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

おひさま通信

〒779-3125
徳島県徳島市早瀬字幸ヶ原218番6
Tel/Fax 088-642-5933



VOL. 7

2009年9月15日発行



成長の喜びを仲間とともに ～ 5歳児のお米作り ～

お米の成長とともに、自然の中での様々な体験を通して、五感を働かせ、大好きな仲間と共感しながら育ちあう5歳児の様子です。



『どんどんみずいれよう！』（苗代作り）

5月、保育所の園庭に苗代が出来ました。子ども達は苗代の水が絶えないように、毎日バケツにたくさん水をくんで運ぶ作業を繰り返していきます。毎日の水入れに『えー！また！』と嫌そうな日もありましたが、そんな時、苗代の鳥よけ囲いの隙間をのぞき、『きのうよりもおおきいなっとうな』と日に日に成長していく苗を見ると嬉しくて笑顔になり、『どんどんみずいれよう！』と張り切って水を運んでいました。水を入れすぎて、苗代の淵が崩れ水が溢れ出すと、気づいた子が急いで土をかぶせます。どんどん仲間が増え、いつの間にか『もっとつちいるよ！』『こっちはみずいれるわな～』と、役割分担して作業していきます。



『あしがうもれそうになる～』（田植え）

6月の田んぼ作りの前日に、苗代の苗を1本1本抜いて束にする作業をしていきます。苗代の土の中に足を踏み入れると、『あしがうもれそうになる』『ぬるぬるする』と足の感触が気になる様子。何千本という数の苗を抜いていくのは根気と集中力がいられます。途中で『オケラがおったよ』『どこ？』『ちょっとまって！ヒルちゃうん』『ちがうよ』『よかったーヒルってちすうでえなあ』などと、小動物と身近に触れ合ったり、おしゃべりしたりしながら、作業が進みました。

近所の方がトラクターで畑を耕して下さり、保護者の方にも協力していただき、立派な田んぼができました。翌日は楽しみにしていた田植えです。裸足になり田んぼに足を踏み入ると、深く膝まで埋まり1歩1歩足を運ぶのも大変です。『うわー、あしがぬけんようになってきた』としりもちをついたり『てにどろがついてとりにくい』といいながらも、集中して丁寧に、印のついているところに植えていきました。



『こんなにふえていくのかなあ?』

田植えして1ヶ月、なかなか大きくなっている実感
わかず、近くの田んぼを見に行きました。『こんなにふえていく
のかなあ?』と心配する日が続きましたが、みんなの水やりや梅雨のお
かげで、すくすく育っていきました。土の下ではこっそりと根っこが伸び
ていたんですね。

田んぼには水草がたくさん浮かんでいます。ひしゃくですくうと水も無く
なります。そこで、ひしゃくで水草をすくい、じょうろに入れ、水だけを
流し、草だけをとることを考えた子ども達。自然の中でいろんなこ
とを体験しながら、発見や工夫をしていきます。



『いっしょにいく!!』(お世話)

7月の夏祭りが終わった頃、稲も5歳児の肩ぐら
いまで背が伸びてきました。これからは水を切らし、しっかり根を張らせ
ていく時期に入りました。子ども達に伝えると『やったー、らくちんになる!』
と嬉しい子もいれば、『おおきくなるかな?』と心配そうな子もいました。

トノサマガエルが住んでいる田んぼに入るのが、ちょっと怖い子もいました。
草抜きに、仲間や担任が誘っても『えーいわ、きもちわるいもん』と田んぼ周辺の雑草を抜
いていました。しかし、地球組の田んぼ博士(子ども)が田んぼの中に入っていくと、
『いっしょにいく!』と何人かが田んぼへ。それにつられて、一緒に入ることができ
ました。田んぼには他にもいろんな小動物がいます。『いとんぼみつけた!』
『あみとってくるわな』と、世話をしながら虫とりも楽しんでいます。



『あっ!はながさいとる!』

雨の日が続くと、『あめばかりやけん、たんぼのみずきれんな...』と。久しぶりの晴れ
の日に、穂が出ている稲を見つけ、『うわー!なっとるよ!』とまじまじと見つめる
子ども達。『赤ちゃんが生まれてきたんやな。これからはどんどん水入れていったら
いいよ。』と、田んぼの師匠(保護者)から教えてもらいました。『わかった!』と
子ども達は張り切って水を入れていきました。

観察していると、『なんか2つにわれとるよ』と。急いで図鑑で調べると、おしべ
とめしべでした。驚いたことは、花は午前中のほんの少しの時間しか見えないと書いて
あります。みんなで観察していると、『こっちもさいとるよ』『このはな、しろく
なっとるよ』と言う子がいると、『これはな、もうお米になってきよるってことよ。』
と田んぼ博士が教えてくれました。その日の午睡後に花を見に行くと、受粉して実
はくっついていました。それ以降、花は見えませんでした。一日だけの貴重な体験で
した。



『うれしそうにきこえるな~』

3日後、大雨が降りました。保育所に来る途中に田んぼの稲が倒れているのを見
た子が、『ほいくしよのたんぼは、だいじょうぶかな』と心配していましたが稲は
倒れていなくて一安心。その時、気持ちのいい風が吹いていました。すると、心配
していた子が、『かぜがふいてさらさらっといよんなー。うれしそうにきこえるなー』
と嬉しそうにつぶやきます。子ども達も稲の成長を喜んでいるように、稲も子ども
たちの地道な世話で成長している喜びを感じているんですね。これから収穫に向け
て稲も黄金色に変わっていくことでしょう。

